

令和8年3月

湯梨浜町議会定例会

令和8年度

一般会計

当初予算参考資料
(歳出予算 事業概要書)

東伯郡湯梨浜町
【教育総務課】

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業	大 0021 中部子ども支援センター運営費負担金 (簡略番号：013421)	中		細	
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一教一教育総務費		

所属	0101012600-0000	教育総務課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,536	2,254	282	2,254	2,300
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,536	2,254	282	2,254

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
児童生徒の人間関係づくりや学習活動、相談活動等を通して不登校児童生徒の学校復帰(再登校)を支援するために、中部地区1市4町で設置している中部子ども支援センターの職員配置や運営にかかる負担金。(設置場所：倉吉市福庭町1丁目298番地)
児童生徒の不登校及び不登校に関する相談は近年多い状況が続き、その内容や状況は複雑多様化している。様々な方面での相談を求める保護者や子どもを支援し、問題解決に向けて家庭・学校・関係機関等と連携しながら取り組んでいる。

【事業の必要性】
中部子ども支援センターは、不登校に悩む保護者や児童生徒の支えとなり、学校復帰だけでなく心のケアにも取り組んでおり、その果たす役割はとて大きいものがある。

2. 根拠法令
中部子ども支援センター規約

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり (学校教育の充実)
SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
不登校児童生徒の学校復帰を支援するため、子どもや保護者、学校の相談に対応し、中部子ども支援センター及び関係者との連絡調整を行っていく。
【事業の効果】
不登校に悩む児童生徒の学校復帰を図る機会となる。
【令和7年度評価】
不登校児童生徒のうち、中部子ども支援センターに通級したり、同センターが主催する体験学習に参加している児童生徒が数名おり、支援を行うことができています。

6. 財源の説明
【一般財源】 2,536千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,536	2,536
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,536	2,536

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
事業	大	0024	学ぶ意欲を育む学力向上推進事業	(簡略番号：013433)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教－教－教育総務費			

所属		0101012600-0000		教育総務課	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,263	1,419	△156	1,217	478
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	73	67	6	59
	地方債				
	その他	948	1,235	△287	1,158
	一般財源	242	117	125	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】基礎学力の確実な定着と教師の授業力向上により児童生徒の学ぶ意欲を高め、学力向上につなげていくものである。
【事業の必要性】学力向上を目指した研究推進は、それぞれ学校の課題や目指す子ども像に合わせた研究テーマにより設定されており、各学校の目指す子ども像に即した学習を展開していくため、外部講師等を招聘した授業研究会の充実によって改善を図り、児童生徒の学力向上へつなげていきたい。また、全体学習の中では学習内容の理解が困難な児童がいることから、放課後や夏休みを活用して個別の学習の機会を設けることでより児童の課題に合った学習支援が可能となり、理解度が上がることが期待される。さらにAI英語教材を活用し、単語練習や会話練習を推進することで英語力の向上を図っていく。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育の推進）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】①個別の学習支援による学習理解と学習意欲の向上 ②各小中学校の研究主題等に向けた授業研究会の実施 ③「家庭学習の手引き」の活用による家庭学習充実に向けた取組 ④AI英語教材の活用による英語力の向上に向けた実証実験の実施
【事業の効果】各学校それぞれの課題解決に向けての授業改善、基礎学力の向上及び家庭学習の習慣化に向けた取組となる。
【令和7年度評価】各学校では授業改善を目指した研究推進がされており、対話的な活動や問題解決型学習を取り入れ、児童生徒が主体的に学習に向かう授業改善が進んでいる。家庭学習の時間には個々でばらつきがあり、今後も各学校で家庭学習についての指導を行っていく必要がある。英語力を調査した児童対象のアンケートにおいて、実証実験を行っているAI英語教材の導入について一定の効果があることが確認できた。今後、学力検査等の客観的指標も活用しながら、効果の検証を行っていく。

6. 財源の説明
【県支出金】 73千円
【繰入金】 948千円（ふるさと湯梨浜応援基金）
【一般財源】 242千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	448	448	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	181	181	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	26	26	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料	608	608	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,263	1,263

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801021	鳥取県オンラインスピーキング	73	67
繰入金	18021001001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	948	1,235

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県オンラインスピーキング支援事業補助金				
補助基本額	147	補助率	50.0%	補助金額	73

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			

歳出予算事業概要書

令和 8年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	09 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業	大	0032 通学費助成事業 (簡略番号：040884)			
	中				
	小				
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定	
補助単独区分			目的区分	教－教－その他	

		所属	0101012600-0000		教育総務課	
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	6,226	7,029	△803	6,856	5,461
	国庫支出金					/
	県支出金	3,100	3,500	△400	3,414	/
	地方債	900	1,000	△100	1,000	/
	その他					/
	一般財源	2,226	2,529	△303	2,442	/

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 定期乗車券により公共交通機関を利用して県内の高等学校等に通学する高校生等の定期乗車券の購入に要する経費を補助する。月額実費負担額に対して7,000円を超えた額を助成する。
【事業の必要性】
 定期乗車券の購入に要する経費を支援し、子育て家庭における経済的負担を軽減することにより子育て支援の充実を図るため。

2. 根拠法令
 鳥取県高校生等通学費助成事業費補助金交付要綱
 湯梨浜町高校生等通学費助成補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり (学校教育環境の充実)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 公共交通機関の通学定期券を購入して高等学校等に通学する高校生等の定期乗車券の購入に要する経費を補助する。
【事業の効果】
 定期乗車券の購入に要する経費を支援し、子育て家庭における経済的負担を軽減することにより子育て支援の充実を図ることが見込まれる。
【令和7年度評価】
 申請者見込125名 交付見込額6,828千円

6. 財源の説明
【県支出金】 3,100千円
【地方債】 900千円 (過疎対策事業債(充当率100%、交付税措置70%))
【一般財源】 2,226千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	6,200	6,200
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	26	26	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	6,226	6,226

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801015	通学費助成事業補助金	3,100	3,500
地方債	21010705002	過疎対策事業債 (通学費助成事	900	1,000

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県高校生等通学費助成事業費補助金				
補助基本額	6,200	補助率	50.0%	補助金額	3,100

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 01項 02目 003200000事業 通学費助成事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
事業	大	0126	ICT教育推進事業	(簡略番号：039295)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一教一教育総務費				

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	14,349	13,676	673	13,346	12,707
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	901	935	△34	875
	地方債				
	その他				
	一般財源	13,448	12,741	707	12,471

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 ICT支援員及びICT機器のサポート員の設置、クラウドシステムを活用した学習など、1人1台端末整備の環境を活かし、全ての教員や児童生徒がICT教育を推進できる体制を整える。
【事業の必要性】
 ICT教育を効率的かつ効果的に推進するために必要である。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育環境の充実）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ・ICT支援員による学校業務支援。
 ・ICT機器のサポート運用支援。
 ・鳥取県教育情報通信ネットワークフィルタリングソフトの運用管理。
 ・学校ホームページ管理システム委託業務。
 ・クラウドシステムによるドリル教材等を活用した学習支援。
 ・授業目的公衆送信補償金制度で定められた補償金の負担。
【事業の効果】
 全ての教員及び児童生徒がICT機器を推進できる体制を整えることができる。
【令和7年度評価】
 ICT支援員を配置し、教員のICT教育のスキルアップをはじめ、児童生徒にICTを活用した教育を提供することができた。またICT機器のサポートを配置し、機器トラブル等が生じた際に専門業者による迅速かつ適切な対応ができ、情報主任等の負担軽減と教職員の働き方改革を推進することができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 901千円（鳥取県eラーニング教材活用等支援事業費補助金）
【一般財源】 13,448千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	136	136
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	9,974	9,974	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	4,239	4,239	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	14,349	14,349

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801019	eラーニング教材活用による学	901	935

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県eラーニング教材活用等支援事業費補助金				
補助基本額	1,804	補助率	50.0%	補助金額	901

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
事業	大	0233	地域未来塾推進事業	(簡略番号：035581)				
	中							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分	補助事業		目的区分	教－教－教育総務費				

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	732	721	11	528	425
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	486	479	7	350
	地方債				
	その他				
	一般財源	246	242	4	178

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 放課後の教員OB等地域の人材による学習支援の環境整備として、中学1年生を対象に「地域未来塾」を実施するもの。
【事業の必要性】
 様々な家庭環境、状況に置かれた生徒が自らの意志で、学ぶことができる環境の整備として、町の将来を担う人材に対する学習の機会を提供することが必要である。

2. 根拠法令
 鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり（学校教育の推進）
【まち・ひと・しごと総合戦略】 安心して暮らせるまち
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 湯梨浜中学校に通う中学1年生のうち希望する生徒を対象に、月3回（水曜日3回）開催（年間30回）。
【事業の効果】
 学習支援が必要な中学1年生に対して学習習慣の確立と基礎学力の定着が図られる。
【令和7年度評価】
 35名の中学1年生が参加申込みをした。教育活動支援員15名がその活動を支えた。継続して学習に取り組む姿勢が身に付いた。

6. 財源の説明
【県支出金】 486千円
【一般財源】 246千円
 補助率：国1/3、県1/3、町1/3

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	684	684	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	22	22	25 寄附金		
11 役務費	26	26	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	732	732

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801010	学校家庭地域連携協力推進事業	486	479

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金				
補助基本額	730	補助率	66.7%	補助金額	486

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 01項 02目 023300000事業 地域未来塾推進事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
事業	大	0234	放課後子ども教室推進事業	(簡略番号：035591)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分	補助事業			目的区分	教－教－教育総務費			

所属	0101012600-0000	教育総務課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,413	1,413		1,122	1,208
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	941	941	746	
	地方債				
	その他				
	一般財源	472	472	376	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 子どもの安全・安心な居場所づくりを推進するため、「ゆりはま自主学習の広場」として放課後に小学校の特別教室等を活用し、小学生を対象に地域の方々の参画を得て、学習支援の取組みを実施する。
【事業の必要性】
 宿題や復習への支援を通して、子ども達の学習習慣の定着を図るためにも必要である。

2. 根拠法令
 鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱
 鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育の推進）
【まち・ひと・しごと総合戦略】 安心して暮らせるまち
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 町内3小学校
 （各小学校 年間30回：平日27回（月3回程度）、夏季休業中3回）
【事業の効果】
 安心・安全な子どもたちの居場所が確保される。また学習習慣の定着を図ることができる。
【令和7年度評価】
 参加児童は宿題及び補充プリントに意欲的に取り組んだ。指導者が児童の集中力が持続する方法や活動を工夫し、落ち着いて学習することができるようになってきた。学習内容や指導方法のさらなる充実を図っていきたい。

6. 財源の説明
【県支出金】 941千円
【一般財源】 472千円
 補助率：国1/3、県1/3、町1/3

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	1,323	1,323	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	40	40	25 寄附金		
11 役務費	50	50	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,413	1,413

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801011	学校家庭地域連携協力推進事業	941	941

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱				
補助基本額	1,412	補助率	66.7%	補助金額	941

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
事業	大	0235	スクールソーシャルワーカー活用事業	(簡略番号：035601)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一教一教育総務費				

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,086	2,963	123	2,938	2,650
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	2,050	1,968	82	1,864
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,036	995	41	1,074

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカー2名を教育委員会事務局に配置し、各校への支援体制の充実を図る。
【事業の必要性】
 複雑化する家庭環境を背景とする問題を抱えた児童生徒の生活環境、家庭環境に働きかける支援を行うことにより、不登校をはじめとした生徒指導上の課題解決を図る。

2. 根拠法令
 鳥取県スクールソーシャルワーカー活用事業費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育の推進）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 スクールソーシャルワーカー2名を配置する。
【事業の効果】
 不登校児童生徒の問題解決のため、必要に応じて家庭環境の問題にも踏み込みながら学校と関係機関との連携体制の充実を図る。
【令和7年度評価】
 不登校児童生徒に加え、生徒指導上に困難さを抱える児童生徒に対して、直接関わったり、担当教員に対して助言したりすることができた。また、様々なケースを関係機関とつなげることができた。不登校、問題行動対応はすぐに結果がでるものではないが、今後も継続的に関わることにより改善することが期待できる。

6. 財源の説明
【県支出金】 2,050千円
【一般財源】 1,036千円
 補助率：国1/3、県1/3、町1/3（スクールソーシャルワーカー活用事業）

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,052	3,052	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	13	13	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	12	12	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	9	9	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	3,086	3,086

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801012	スクールソーシャルワーカー活	2,050	1,968

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県スクールソーシャルワーカー活用事業費補助金				
補助基本額	3,076	補助率	66.7%	補助金額	2,050

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 01項 02目 023500000事業 スクールソーシャルワーカー活用事業

歳出予算事業概要書

令和 8年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	09	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費	
事業	大	0237	ふるさと教育推進事業 (簡略番号：035612)						
	中								
	小								
	細								
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時			
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定					
補助単独区分	単独事業		目的区分	教－教－教育総務費					

		所属	0101012600-0000		教育総務課		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	397	412	△15	412	379	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他	316		316			
	一般財源	81	412	△331	412		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】 総合的な学習の時間で行われている地域学習の取組みを拡充するもの。
【事業の必要性】 ふるさとに愛着を持つ児童生徒の育成のため子どもたちが湯梨浜町の誇る歴史・文化・自然・人々の生活の営み等に触れる機会を設け、ふるさとのすばらしさを体感できる学習や活動を推進する必要がある。

2. 根拠法令
 湯梨浜町ふるさと教育推進事業補助金交付規程

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり (学校教育の推進)
【まち・ひと・しごと総合戦略】 安心して暮らせるまち
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 各小・中学校が地域人材を活用し、独自の魅力ある体験学習等を展開する。
 ①羽合小：体験(町探検、東郷池学習、文化伝承、環境教育、雅楽鑑賞、アロハ委員会)、交流(高齢者、こども園)、手話教室
 ②泊小：体験(水産教室、泊貝がら節、GG体験、梨づくり、ワカメ栽培、昔語り)、学校支援ボランティア感謝集会、よりよい泊になるために(講演等)
 ③東郷小：体験(梨づくり、東郷池学習、こども園交流、楽器演奏、GG体験、龍おどり、町たんけん)、環境(サケ飼育)
 ④湯梨浜中：湯梨浜調べ、職場体験、町への提言、地元の食を学ぶ、観光地PR動画制作
【事業の効果】
 子どもたちの自己肯定感、生きる力、ふるさとへの愛着や社会へ貢献しようとする力を育成する。
【令和7年度評価】
 学習機会を通じ、湯梨浜町の誇る歴史・文化・自然・人々の生活の営み等に触れ、ふるさとのすばらしさを体感できる活動が推進できた。

6. 財源の説明
【繰入金】 ふるさと湯梨浜応援基金繰入金 316千円
【一般財源】 81千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	397	397
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	397	397

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021001001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	316	

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

09款 01項 02目 023700000事業 ふるさと教育推進事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
事業	大	0244	フリースクール等利用料助成事業	(簡略番号：041200)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一教一教育総務費			

所属		0101012600-0000		教育総務課	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,779	1,012	1,767	804	422
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,026	381	645	297
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,753	631	1,122	507

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 フリースクール等に通う児童生徒の通所経費（授業料等）について補助する。
 ①対象経費：授業料、交通費及び実習費等
 ②補助金額：（授業料）月額上限 30,000円 ※R8年度改定
 （県補助率1/3又は10,000円のいずれか低い額）
 （交通費及び実習費等）月額上限 中学生6,000円 小学生3,000円
 （県補助率1/2、月額上限中学生3,000円・小学生1,500円）

【事業の必要性】
 フリースクール等の通所経費を支援し保護者の経済的負担を軽減することにより、不登校児童生徒の義務教育段階にある児童生徒の学びや成長を保障するため。

2. 根拠法令
 鳥取県不登校児童生徒支援事業費補助金交付要綱
 湯梨浜町フリースクール等利用料助成事業費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（社会教育環境の向上）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 フリースクール等に通う児童生徒の通所に要する経費（授業料等）を補助する。通所経費の補助上限額を月額20,000円から月額30,000円に改定する。
【事業の効果】
 フリースクール等の通所経費を支援し保護者の経済的負担を軽減することにより、不登校児童生徒への多様かつ適切な教育機会の確保を図ることが見込まれる。
【令和7年度評価】
 フリースクール等の利用料の助成により、保護者の経済的な負担を軽減した。（R7実績：交付決定6名）

6. 財源の説明
【県支出金】 1,026千円
【一般財源】 1,753千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,772	2,772
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	7	7	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,779	2,779

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801016	鳥取県不登校児童生徒支援事業	1,026	381

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県不登校児童生徒支援事業費補助金				
補助基本額	2,772	補助率	37.0%	補助金額	1,026

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 01項 02目 024400000事業 フリースクール等利用料助成事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	01	教育総務費	目	03	給食事業費
事業	大	0055	湯梨浜学校給食センター管理運営経常経費	(簡略番号：037705)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経		
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一保一学校給食費			

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	81,565	82,967	△1,402	77,782	68,022
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	81,565	82,967	△1,402	77,782

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 学校給食センターは羽合小・東郷小・湯梨浜中の児童生徒の給食の調達・調理・配送を直営で行う共同調理場であり、調理員の人件費、調理に係る消耗品、光熱水費、施設設備の衛生及び維持管理のための経費である。
【事業の必要性】
 学校給食は児童生徒の心身の健全な発達を促し、食に対する正しい理解と判断力を培い望ましい食習慣を養う目的があり、学校給食センターは適切に学校給食を提供していく。

2. 根拠法令
 地方教育行政の組織及び運営に関する法律・学校教育法・学校給食法
 学校給食実施基準・学校給食衛生管理基準・湯梨浜町立学校給食センター設置条例
 湯梨浜町立学校給食事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育の推進）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 学校給食センターの管理運営と衛生管理を適切に行い、給食の献立に地産地消の食材を取り入れ、安全安心でおいしい学校給食を提供していく。
 1日あたり、羽合小(食数:600食)、東郷小(食数:270食)、湯梨浜中学校(食数:500食、給食センター食数:20食)合計1,390食を提供する。
【事業の効果】
 学校給食の実施と運営を円滑に行うとともに、地産地消の推進によって安全安心でおいしい学校給食の提供をすることができる。
【令和7年度評価】
 学校給食の提供を通して、児童生徒の心身の健康な発達を促し、児童生徒が生産者への感謝の気持ちを抱き、食への理解と興味をもつことができた。

6. 財源の説明
【一般財源】 81,565千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	27,980	27,980	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	10,893	10,893	18 負担金、補助及び交付金	9,257	9,257
04 共済費	7,555	7,555	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	741	741	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	19,044	19,044	25 寄附金		
11 役務費	1,615	1,615	26 公課費	23	23
12 委託料	4,405	4,405	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	52	52	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	81,565	81,565

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

09款 01項 03目 005500000事業 湯梨浜学校給食センター管理運営経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	01	教育総務費	目	03	給食事業費
事業	大	0217	物価高騰に伴う町立学校給食費一時支援金 (簡略番号：045950)					
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	政策的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一保一学校給食費				

所属		0101012600-0000		教育総務課	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	6,695	8,651	△1,956	10,628	
財源内訳	国庫支出金	6,694	6,401	293	10,588
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1	2,250	△2,249	40

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業の概要】**
 町立中学校の生徒に係る学校給食食材に要する経費を対象に、中学校1人1食当たり79円に年間給食回数乗じた額を町立学校給食センター給食会計へ一時支援金として交付する。
 - 【事業の必要性】**
 物価高騰による給食食材費の上昇に対する一時支援金の交付によって、保護者の経済的負担の軽減や学校給食の質の維持を図る。
- 根拠法令
 学校給食法、湯梨浜町立学校給食センター設置条例
 湯梨浜町立学校給食費一時支援金交付要綱
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり (学校教育の推進)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
- 本年度の計画効果
 - 【本年度の計画】**
 物価高騰による給食食材費の上昇に対して、町立中学校給食費への一時支援金を交付し保護者負担額の上昇を抑制する。
 - 【事業の効果】**
 保護者の経済的負担を軽減し、学校給食の質を維持することができる。
 - 【令和7年度評価】**
 令和7年度の支援金の額は、4月～10月までは1人1食当たり小学校を33円、中学校は35円を、11月～3月までは1人1食当たり小学校を56円、中学校は65円を支援金として保護者の経済的負担の軽減等を図ることができた。
- 財源の説明
【国庫支出金】 6,694千円 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)
【一般財源】 1千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	6,695	6,695
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	6,695	6,695

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101242	物価高騰対応重点支援地方創生	6,694	6,401

【補助金】

補助金等の名称	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		
補助基本額	6,695	補助率	補助金額 6,694

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

09款 01項 03目 021700000事業 物価高騰に伴う町立学校給食費一時支援金

令和 8年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	01	教育総務費	目	03	給食事業費
事業	大	0250	学校給食費の抜本的な負担軽減事業補助金	(簡略番号：046686)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31			新規・継続	新規	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分	補助事業			目的区分	教一保一学校給食費			

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	51,709		51,709		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	51,708		51,708	
	地方債				
	その他				
一般財源	1			1	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町立小学校在籍の児童の保護者に対する給食費の抜本的な負担軽減を図るため、国が創設した交付金を活用して町立学校給食センター及び泊小学校の給食会計等に補助金を交付する。
【事業の必要性】
 子育て支援の充実を図る。

2. 根拠法令
 地方教育行政の組織及び運営に関する法律・学校教育法・学校給食法
 学校給食実施基準・学校給食衛生管理基準

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり（学校教育の推進）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 国が創設した交付金を活用して、町立小学校に在籍する児童の保護者の抜本的な経済的負担軽減のための補助金を町立学校給食センター及び泊小学校の給食会計等に交付する。
【事業の効果】
 子育て支援の充実を図ることができる。

6. 財源の説明
【県支出金】 51,708千円
【一般財源】 1千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	51,709	51,709
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	51,709	51,709

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801100	学校給食費の抜本的な負担軽減	51,708	

【補助金】

補助金等の名称	学校給食費負担軽減事業補助金		
補助基本額	51,708	補助率	100.0%
		補助金額	51,708

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 01項 03目 025000000事業 学校給食費の抜本的な負担軽減事業補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
事業	大	0008	東郷小学校管理運営経常経費 (簡略番号：013721)					
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経			
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一小学校費				

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	35,195	34,612	583	35,713	36,485
財源内訳	国庫支出金			522	
	県支出金				
	地方債				
	その他	55	66	△11	47
	一般財源	35,140	34,546	594	35,144

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】年間を通じて、円滑な学校運営を行う。
 <学校教育目標>「豊かな心で自ら考え行動する、たくましい児童の育成」
 <経営の重点>学ぶ意欲の向上と確かな学力の向上。支え合い高め合う人間関係づくり。健やかでたくましい心と体づくり。地域に根ざし開かれた学校づくり。業務改善の推進。
【事業の必要性】学校運営を円滑に行い、児童が安全・安心に学び過ごせる学校環境を整えるための必要経費を計上する。

2. 根拠法令
 教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、湯梨浜町立小中学校管理規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育の推進）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】①教育環境の整備 町会計年度任用職員の配置（学校事務支援員1名、児童支援員2名、学校図書館司書1名）
 ②令和8年度の在籍予定児童数・学級数(R8.2.1現在)：児童数230名、通常学級215名(10学級)、特別支援学級15名(2学級)、1年生39名(2学級)(うち特支1名)、2年生37名(2学級)(うち特支0名)、3年生33名(1学級)(うち特支3名)、4年生39名(1学級)(うち特支4名)、5年生41名(2学級)(うち特支2名)、6年生41名(2学級)(うち特支5名)
【事業の効果】円滑な学校運営を行い教育目標の実現をめざすことができる。
【令和7年度評価】教育目標の実現に向け、教育環境の整備を行うことにより円滑な学校運営を行うことができた。

6. 財源の説明
【使用料】 55千円 (学校使用料)
【一般財源】 35,140千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	8,509	8,509	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	3,665	3,665	18 負担金、補助及び交付金	25	25
04 共済費	2,360	2,360	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	10	10	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	264	264	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	12,424	12,424	25 寄附金		
11 役務費	1,825	1,825	26 公課費		
12 委託料	5,290	5,290	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	786	786	予備費		
14 工事請負費			合計	35,195	35,195
15 原材料費	37	37			

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010601201	学校使用料	55	66

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費	所属	0101012600-0000	教育総務課
事業	大	0009	東郷小学校管理運営臨時経費		(簡略番号：024357)						
	中										
	小										
	細										
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時					
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定							
補助単独区分			目的区分	教一小学校費							

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費		7,458	14,806	△7,348	14,600
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	1,500	12,500	△11,000	11,900	
	その他	3,494		3,494		
	一般財源	2,464	2,306	158	2,700	

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業の概要】
既設設備の更新などを行い教育環境の整備を図る。
 - 【事業の必要性】
児童が安全に、安心して過ごせる学校環境を提供するために必要である。
- 根拠法令
教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、湯梨浜町立小中学校管理規則
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第5次総合計画】湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育環境の充実）
SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
- 本年度の計画効果
 - 【本年度の計画】
◇空調機器更新工事実施設計業務（委託料：2,024千円）
◇屋内運動場空調設備設置工事基本設計業務（委託料：4,389千円）
◇グラウンド放送設備改修工事（工事請負費：1,045千円）
 - 【事業の効果】
計画的な設備更新により安全・安心な学校活動を保障できる。
 - 【令和7年度評価】
開校時より運用していた設備の更新などを行い施設の適切な維持管理に努めた。
- 財源の説明
 - 【繰入金】ふるさと湯梨浜応援基金繰入金 3,494千円
 - 【地方債】1,500千円（学校教育施設等整備事業債(充当率75%、交付税措置50%)）
 - 【一般財源】2,464千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	6,413	6,413	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	1,045	1,045			
15 原材料費			合計	7,458	7,458

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021001001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	3,494	
地方債	21010701001	学校教育施設等整備事業債（羽	1,500	
地方債	21010704001	脱炭素化推進事業債（東郷小学		4,100
地方債	21010705104	過疎対策事業債（泊小学校管理		8,400

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 02項 01目 000900000事業 東郷小学校管理運営臨時経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
事業	大	0104	羽合小学校管理運営経常経費	(簡略番号：024521)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一小学校費			

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	59,703	70,478	△10,775	59,757	61,219
財源内訳	国庫支出金	3,829	△3,829	778	
	県支出金	2,195	2,028	167	544
	地方債				
	その他	145	168	△23	147
	一般財源	57,363	64,453	△7,090	58,288

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】年間を通じて、円滑な学校運営を行う。
 <教育目標>「やさしく かしく たくましく」
 <経営の重点>落ち着いた生活の中で、「個」と「集団」の力を伸ばす。身に付けさせるべき資質・能力が身につく授業改善を進める。地域とつながり、地域に根ざした教育活動を充実させる。
【事業の必要性】学校運営を円滑に行い、児童が安全・安心に学び過ごせる学校環境を整える。また、医療的ケア児就学のための看護師等及び外国籍の児童が就学するための対応支援員を配置する経費を計上する。

2. 根拠法令
 教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、湯梨浜町小中学校管理規則
 鳥取県帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり（学校教育の推進）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】①教育環境の整備 町会計年度任用職員の配置（学校事務支援員1名、児童支援員5名(うち外国籍児童対応1名)、学校図書館司書1名、バス運転手1名、看護師1名、代替看護師1名) ②令和8年度の在籍予定児童数・学級数(R8.2.1現在)：児童数549名、通常学級519名(17学級)、特別支援学級30名(8学級)、1年生77名(3学級)(うち特支3名)、2年生103名(3学級)(うち特支4名)、3年生108名(3学級)(うち特支7名)、4年生75名(2学級)(うち特支7名)、5年生94名(3学級)(うち特支4名)、6年生92名(3学級)(うち特支5名)
【事業の効果】円滑な学校運営を行い教育目標の実現をめざすことができる。
【令和7年度評価】教育目標の実現に向け、教育環境の整備を行うことにより円滑な学校運営を行うことができた。

6. 財源の説明
【県支出金】2,195千円(帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業費補助金)
【使用料】139千円(学校使用料)
【諸収入】6千円(公衆電話使用料)
【一般財源】57,363千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	17,579	17,579	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	848	848
03 職員手当等	7,050	7,050	18 負担金、補助及び交付金	11	11
04 共済費	4,158	4,158	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	335	335	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	17,744	17,744	25 寄附金		
11 役務費	3,145	3,145	26 公課費		
12 委託料	7,994	7,994	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	780	780	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費	59	59	合計	59,703	59,703

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020501410	切れ目ない支援体制整備充実事		3,829
都道府県支出金	15020801014	帰国・外国人児童生徒等に対す	2,195	2,028
使用料	13010601201	学校使用料	139	162
諸収入	20050302023	公衆電話使用料(小学校)	6	6

【補助金】

補助金等の名称	帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業費補助金				
補助基本額	3,294	補助率	66.6%	補助金額	2,195

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 02項 01目 010400000事業 羽合小学校管理運営経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
事業	大	0105	羽合小学校管理運営臨時経費	(簡略番号：024522)				
事業	中							
事業	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一小学校費				

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	6,784	41,175	△34,391	41,134	8,219
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債		18,900	△18,900	19,500
	その他	3,827		3,827	
	一般財源	2,957	22,275	△19,318	21,634

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業の概要】
既存施設・設備の更新や破損箇所の修繕等を行い、教育環境の整備を図る。
 - 【事業の必要性】
児童が安全に、安心して過ごせる学校環境を提供するために必要である。
- 根拠法令
教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、湯梨浜町立小中学校管理規則
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第5次総合計画】湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育環境の充実）
SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
- 本年度の計画効果
 - 【本年度の計画】
◇屋内運動場空調設備設置工事基本設計業務（委託料：4,807千円）
◇校庭遊具修繕（工事請負費：727千円）
◇プールスロープ修繕工事（工事請負費：1,096千円）
◇増築棟床・水道設備改修工事（工事請負費：154千円）
 - 【事業の効果】
計画的な設備更新等により安全・安心な学校活動を保障できる。
 - 【令和7年度評価】
開校当初からの空調設備更新などを行い施設の適切な維持管理に努めた。
- 財源の説明
【繰入金】ふるさと湯梨浜応援基金繰入金 3,827千円
【一般財源】2,957千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	4,807	4,807	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	1,977	1,977			
15 原材料費			合計	6,784	6,784

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021001001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	3,827	
地方債	21010701001	学校教育施設等整備事業債（羽）		18,900

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費	所属	0101012600-0000	教育総務課	
事業	大	0127	少人数学級実施県負担金	(簡略番号：014042)								
	中											
	小											
	細											
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時					
経費区分	未設定			事業の種類	未設定							
補助単独区分				目的区分	教一小学校費							

財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	6,000	4,000	2,000	2,000	2,000
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	6,000	4,000	2,000	2,000	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】 きめ細やかな教育を実践するため、令和7年度の県基準では全学年30人以下をもって学級編制し、必要となる教員の増員にかかる県費負担教職員の人件費等を県への協力金として負担する。
【事業の必要性】 公立小学校の学級編制は、国の標準法により令和7年度以降1学級35人の予定であるが、一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな教育を実践するとともに、学力向上及び児童をとりまく課題に対応するため、県基準（1学級30人以下）による少人数編制を実施する。

2. 根拠法令
 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律、鳥取県公立小・中・義務教育・特別支援学校学級編制基準

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり（学校教育の推進）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】 令和7年度は、羽合小3、4年生、東郷小4年生の学級編制にあたり県協力金を負担する。
 羽合小3年 100人 羽合小4年 66人
 東郷小4年 35人
 ※県基準を満たすため当該学年において各1学級増となり教員が増員となるため、県協力金として町の負担6,000千円(2,000千円×3名)が発生する。(基準日は令和8年5月1日)
【事業の効果】 学習中に児童一人一人の理解度、作業の様子や状況を把握しやすくなり、個々の児童に合った的確な支援をすぐに行うなどのきめ細やかな対応ができる。
【令和7年度評価】 少人数学級により、学習中に児童一人一人の理解度や作業の様子を把握しやすくなり、児童に合った的確な支援をすぐに行うなどのきめ細やかな対応ができた。

6. 財源の説明
【一般財源】 6,000千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	6,000	6,000
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	6,000	6,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費
事業	大 0210 泊小学校管理運営経常経費 (簡略番号：014078)				
事業	中				
事業	細				
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一小学校費		

所属		0101012600-0000		教育総務課	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	28,326	29,555	△1,229	27,524	27,709
財源内訳	国庫支出金			153	
	県支出金		2,287	△2,287	782
	地方債				
	その他	42	64	△22	53
	一般財源	28,284	27,204	1,080	26,536

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】年間を通じて、円滑な学校運営を行う。
 <教育目標>「生き生きと自分らしく未来を拓く子どもの育成」
 <努力点>わかる授業の創造と確かな学力の育成。豊かな心の育成。健やかな体の育成。ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり。
【事業の必要性】学校運営を円滑に行い、児童が安全・安心に学び過ごせる学校環境を整える。

2. 根拠法令
 教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、湯梨浜町立小中学校管理規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育の推進）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】①教育環境の整備 町会計年度任用職員の配置（学校事務支援員1名、児童支援員1名、学校図書館司書1名）
 ②令和8年度の在籍予定児童数・学級数(R8.2.1現在)：児童数127名、通常学級113名(6学級)、特別支援学級14名(3学級)、1年生25名(1学級)(うち特別支援0名)、2年生21名(1学級)(うち特別支援3名)、3年生26名(1学級)(うち特別支援5名)、4年生12名(1学級)(うち特別支援1名)、5年生25名(1学級)(うち特別支援2名)、6年生18名(1学級)(うち特別支援3名)
【事業の効果】円滑な学校運営を行い教育目標の実現をめざすことができる。
【令和7年度評価】教育目標の実現に向け、教育環境の整備を行うことにより円滑な学校運営を行うことができた。

6. 財源の説明
【使用料】 42千円(学校使用料)
【一般財源】 28,284千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	6,451	6,451	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	2,749	2,749	18 負担金、補助及び交付金	43	43
04 共済費	1,811	1,811	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	10	10	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	167	167	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	6,926	6,926	25 寄附金		
11 役務費	1,339	1,339	26 公課費		
12 委託料	8,429	8,429	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	383	383	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費	18	18	合計	28,326	28,326

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801014	帰国・外国人児童生徒等に対する		2,287
使用料	13010601201	学校使用料	42	64

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 02項 01目 021000000事業 泊小学校管理運営経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費
事業	大 0211 泊小学校管理運営臨時経費 (簡略番号：014127)				
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一小学校費		

所属		0101012600-0000		教育総務課	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	9,069	7,473	1,596	7,398	3,242
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	2,900	4,000	△1,100	3,700
	その他	3,494		3,494	
	一般財源	2,675	3,473	△798	3,698

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 既存施設・設備の更新や破損箇所の修繕等を行い、教育環境の整備を図る。
【事業の必要性】
 児童が安全に、安心して過ごせる学校環境を提供するために必要である。

2. 根拠法令
 教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、湯梨浜町立小中学校管理規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり (学校教育環境の充実)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ◇屋内消火栓ホース更新 (消耗品費：317千円)
 ◇屋内運動場空調設備設置工事基本設計業務 (委託料：4,389千円)
 ◇太陽光発電集電箱修繕 (工事請負費：444千円)
 ◇ビジネスフォン更新 (工事請負費：853千円)
 ◇電気設備高圧ケーブル修繕 (工事請負費：2,994千円)
【事業の効果】
 計画的な設備更新等により安全・安心な学校活動を保障できる。
【令和7年度評価】
 周辺の沈砂池における安全性確認業務などを行い施設の適切な維持管理に努めた。

6. 財源の説明
【地方債】 2,900千円 (過疎対策事業債(充当率100%、交付税措置70%))
【繰入金】 3,494千円 (ふるさと湯梨浜応援基金繰入金)
【一般財源】 2,675千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	72	72
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	317	317	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	4,389	4,389	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	4,291	4,291			
15 原材料費			合計	9,069	9,069

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021001001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	3,494	
地方債	21010705104	過疎対策事業債 (泊小学校管理)	2,900	4,000

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費
事業	大 0220 特定地域選択制事業 中 小 細	(簡略番号：037244)			
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一小学校費		

所属	0101012600-0000	教育総務課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	6,103	4,508	1,595	4,606	4,559
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	6,100	4,500	1,600	4,500
	その他				
一般財源	3	8	△5	106	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 泊小学校の豊かな自然環境や小規模であることの特徴を活かし、自然に触れる中で学ぶ楽しさや心身共に健康で豊かな人間性を培いたいと希望する児童・保護者に、入学及び転入学の機会を提供する。また、適切な学級規模を維持することで、よりよい学習環境の充実にを図る。
【事業の必要性】
 適切な学級規模を維持することで、よりよい学習環境の充実に図ることができる。

2. 根拠法令
 湯梨浜町立小学校の特定地域選択制に関する規程

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり（学校教育環境の充実）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 選択制の対象となる児童は、羽合小学校区に住所を有する者で、泊小学校への入学及び転入学を希望する者。
 本制度により個性に応じた学校選択を可能とし、学級適正規模を維持することで学校教育の充実に図る。（利用児童見込 29人）
【事業の効果】
 適切な学級規模を維持することで、よりよい学習環境の充実に図ることができる。
【令和7年度評価】
 適切な学級規模を維持することで、よりよい学習環境の充実に努めた。
 （利用児童 27人）

6. 財源の説明
【地方債】 6,100千円（過疎対策事業債（充当率100%、交付税措置70%））
【一般財源】 3千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,399	2,399	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	668	668	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	3,036	3,036	予備費		
14 工事請負費			合計	6,103	6,103
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010705001	過疎対策事業債（特定地域選択	6,100	4,500

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 02項 01目 022000000事業 特定地域選択制事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
事業	大	0250	コミュニティ・スクール推進事業	(簡略番号：037937)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分	補助事業			目的区分	教一小学校費			

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	621	636	△15	527	462
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	281	302	△21	284
	地方債				
	その他				
	一般財源	340	334	6	243

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】 保護者・地域住民等から構成される学校運営協議会を各小学校に設置し、学校と保護者・地域住民等が協働しながら、「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」を進める。平成29年3月に学校運営協議会制度に関する法律（地教法47条の5）が改正され、学校運営協議会の設置が努力義務化された。
【事業の必要性】 「地域でどのような子どもを育てていくのか」「何を実現していくのか」という目標を学校・保護者・地域で共有し、協働して、子どもたちを育てていくコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、「地域とともにある学校」に転換するための仕組みづくりを行っている。制度導入により、地域ならではの創意や工夫を活かした特色ある学校づくりを進めることができる。

2. 根拠法令
 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育の推進）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】 各学校に学校運営協議会を設置し、年間5回程度の協議会を開催。学校運営基本方針の承認等を行い、学校・保護者・地域住民が協議しながら学校運営に当たっていく。また、町コミュニティ・スクール推進協議会を年間2回開催し、各校の取り組みについて情報交換、講師招聘による研修等を行い、推進体制のさらなる充実を図る。
【事業の効果】 学校・保護者・地域が共に取り組みを進めることで、子ども達の教育活動が充実し、子ども達と地域とのつながりが深まり、学校を中心とした地域のネットワークが形成され、地域社会の活性化にも寄与できる。
【令和7年度評価】 学校支援ボランティアによる学習支援、地域を巻き込んだ見守り隊の広がり、各学校が学校運営協議会委員による授業参観等の取り組みを行うことで、地域とともにある学校づくりを着実に進めることができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 281千円（鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金）
 ※負担率：国1/3・県1/3・町1/3
【一般財源】 340千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	513	513	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	53	53	25 寄附金		
11 役務費	55	55	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	621	621

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801013	学校家庭地域連携協力推進事業	281	302

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金				
補助基本額	423	補助率	66.7%	補助金額	281

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事業	大	0120	コンピュータ機材等整備事業		(簡略番号：014209)			
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一小学校費				

所属		0101012600-0000		教育総務課	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,368	88,554	△86,186	69,150	3,317
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金		39,086	△39,086	39,343
	地方債				
	その他	1,885	13,161	△11,276	13,579
	一般財源	483	36,307	△35,824	16,228

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 GIGAスクール構想の実現に向け、町立学校のICT環境整備を推進する。
【事業の必要性】
 Society 5.0時代を生きる子どもたちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が強く求められている。ICT機器の整備はもとより、全ての教員がICTを活用した授業が行えるよう研修を深めながら、学校現場で最適化された学びを持続的に提供していく必要がある。

2. 根拠法令
 新学習指導要領、令和7年度以降の学校におけるICT環境の整備方針、第4次教育振興基本計画

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり (学校教育環境の充実)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ①特別支援学級用液晶ディスプレイ・実物投影機・AppleTV等の購入を行う。
【事業の効果】
 子どもたちの学習意欲と確かな学力の向上を図りながら、「分かる」授業を展開するとともに、教職員の校務の効率化や事務負担軽減を図り、子どもたちと向き合う時間の確保と教職員間での必要な情報の共有化によるきめ細かな指導や評価ができる体制を整える。
【令和7年度評価】
 GIGAスクール端末 (iPad) 1人1台の整備及び校務用パソコンを整備し、ICT環境整備を推進することができた。

6. 財源の説明
【繰入金】 1,885千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】 483千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	2,368	2,368
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,368	2,368

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020801022	鳥取県公立学校情報機器整備事		39,086
繰入金	18021001001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	1,885	13,161

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 02項 02目 012000000事業 コンピュータ機材等整備事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事業	大	0211	特別支援教育就学奨励費	(簡略番号：014297)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一小学校費			

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,120	2,472	△1,352	1,731	1,769
財源内訳	国庫支出金	560	1,235	△675	785
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	560	1,237	△677	946

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 町立小学校の特別支援学級に在籍する児童の保護者を対象に、学用品費、修学旅行費、学校給食費などの一部を援助するとともに、他校の通級指導教室に通学する児童の保護者に対し、交通費の全額または一部を助成するものである。

【事業の必要性】
 特別支援学級に在籍する児童の学校教育にかかる保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童の健やかな学校生活を支援するため必要である。

2. 根拠法令
 特別支援学校への就学奨励に関する法律

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり（学校教育環境の充実）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
 ①特別支援学級在籍の児童:対象児童の保護者に学用品費、通学用品費、新入学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費などを援助する。
 ②他校の通級指導教室通学の児童:対象児童の保護者に対し、交通費の全額または一部を助成する。

【事業の効果】
 特別支援教育にかかる保護者の経済的負担を軽減するとともに児童の健やかな学校生活を支援することができる。

【令和7年度評価】
 特別支援学級及び他校の通級指導教室に通学する児童の保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

6. 財源の説明
【国庫支出金】 560千円
【一般財源】 560千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	
04 共済費			19 扶助費	1,120
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費			23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰出金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費				
15 原材料費			合計	1,120
				1,120

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020501002	特別支援教育就学奨励費補助金	560	1,235

【補助金】

補助金等の名称	特別支援教育就学奨励費補助金				
補助基本額	1,120	補助率	50.0%	補助金額	560

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 02項 02目 021100000事業 特別支援教育就学奨励費

歳出予算事業概要書

令和 8年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	09 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費	所属	0101012600-0000 教育総務課	
事業	大	0003 教育相談員等報酬 (簡略番号：014368)						
	中							
	小							
事業期間		令 8. 4. 1～令 9. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分		未設定		事業の種類		未設定		
補助単独区分				目的区分		教一中学校費		

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
		事業費	7,537	7,157	380	7,451
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	1,175	1,592	△417	1,495	
	地方債					
	その他					
	一般財源	6,362	5,565	797	5,956	

【事業概要】	
1.	<p>事業の概要と必要性</p> <p>【事業の概要】 相談室は、教室復帰を果たすためのステップ、人間関係の悩みや発達課題等により教室入れない生徒の居場所として重要な役割を担っている。教育全般にわたって生じる問題、特に近年増加している不登校の解決のために教育相談員を中学校に配置し、悩みを抱える生徒や保護者に対して必要な助言及び支援を行う。</p> <p>【事業の必要性】 支援を必要としている生徒や保護者に対して、対面や電話による相談等を通して必要な助言及び支援を行うことができ、相談室登校生徒の学力保障を行うために必要である。</p>
2.	<p>根拠法令 湯梨浜町教育相談員の設置に関する要綱</p>
3.	<p>用地の状況</p>
4.	<p>基本計画との関連 【第5次総合計画】湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり（学校教育の推進） SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」</p>
5.	<p>本年度の計画効果</p> <p>【本年度の計画】 中学校に教育相談員を2名配置。いじめや不登校問題等の解決改善に向け、生徒や保護者の相談に応じ適切な助言や指導を行うとともに、教職員やスクールカウンセラー等と個別の支援のあり方について情報共有しながら具体的な検討や取り組みを行っていく。</p> <p>【事業の効果】 いじめ問題や不登校問題で、生徒や保護者が抱えている様々な悩みを受け止め、さらに教育全般にわたる幅広い知識と視野をもって取り組むことによって、生徒が心豊かな学校生活を送ることを支援し、保護者・家庭を支え、いじめ問題の解決や不登校生徒の学校復帰を促すとともに、いじめや不登校を未然に防止することができる。</p> <p>【令和7年度評価】 2名の配置により重層的な支援を行うことができた。また、教育相談担当教諭や担任などと連携して、不登校もしくは不登校傾向の生徒個々への対応を行うことができた。</p>
6.	<p>財源の説明 【県支出金】市町村創生交付金 1,175千円 【一般財源】 6,362千円</p>

【事業費内訳】				
節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬	4,438	4,438	16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等	1,765	1,765	18 負担金、補助及び交付金	
04 共済費	1,196	1,196	19 扶助費	
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費	138	138	23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰出金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費				
15 原材料費			合計	7,537

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101001	市町村創生交付金	1,175	1,592

【補助金】	
補助金等の名称	市町村創生交付金
補助基本額	7,537
補助率	
補助金額	1,175

【実施計画】	
実施計画	実施計画計上額
部	
章	
節	
細節	

09款 03項 01目 000300000事業 教育相談員等報酬

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
事業	大	0008	湯梨浜中学校管理運営経常経費	(簡略番号：037651)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経		
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一中学校費			

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	47,923	43,948	3,975	44,247	41,082
財源内訳	国庫支出金			551	
	県支出金				
	地方債				
	その他	335	409	△74	235
	一般財源	47,588	43,539	4,049	43,461

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】 三智創造を校訓とし、湯梨浜町の特色ある三つの地域の人材が集い、共に学び、創造性豊かな人間形成を目指し、未来を見据え、開智、仁智、叡智を修めた人材が新たな智を創造することを学校づくりの目標に掲げ、学校運営を行っていく。
 立志：高い志を立て、その実現のためにともに学び合い、未来を創り出そうとする生徒
 親愛：自らよりよい人間関係を築き、思いやりを持ち、ともに伸びようとする生徒
 創造：夢や目標に向かって自ら課題を発見し、粘り強く取り組み、課題を追究しようとする生徒
 郷土愛：ふるさとを愛し、地域社会の発展に貢献しようとする生徒
【事業の必要性】 学校運営を円滑に行い、生徒が安全・安心に学び過ごせる学校環境を整える。

2. 根拠法令
 教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、湯梨浜町立小中学校管理規則等

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育環境の充実）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】 ①教育環境の整備 町会計年度任用職員の配置（学校事務支援員1名、学校図書館司書1名、生徒支援員4名）②令和8年度の在籍予定生徒数・学級(R8.2.1現在)：生徒数435名、通常学級406名(13学級)、特別支援学級29名(7学級)、1年生153名(5学級)(うち特支8名)、2年生135名(4学級)(うち特支5名)、3年生146名(4学級)(うち特支16名)
【事業の効果】 学校運営を円滑に行い、生徒が安心して学び過ごせる学校環境を整えることができる。
【令和7年度評価】 湯梨浜中学校開校7年目にあたり、予算を有効活用し、生徒が安心して学び過ごせる学校環境を整えることにより、学校教育目標に沿った学校運営を行うことができた。

6. 財源の説明
【使用料】 305千円 (学校使用料)
【諸収入】 30千円 (公衆電話使用料)
【一般財源】 47,588千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	12,933	12,933	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	889	889
03 職員手当等	5,497	5,497	18 負担金、補助及び交付金	117	117
04 共済費	3,714	3,714	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	200	200	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	358	358	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	11,829	11,829	25 寄附金		
11 役務費	3,894	3,894	26 公課費		
12 委託料	7,399	7,399	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	1,073	1,073	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費	20	20	合計	47,923	47,923

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010601201	学校使用料	305	379
諸収入	20050302022	公衆電話使用料 (中学校)	30	30

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費	所属	0101012600-0000	教育総務課
事業	大	0009	湯梨浜中学校管理運営臨時経費	(簡略番号：040880)							
事業	中										
事業	小										
事業	細										
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時					
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定							
補助単独区分			目的区分	教一中学校費							

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費		8,817	8,400	417	9,150
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	4,685		4,685		
	一般財源	4,132	8,400	△4,268	9,150	

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業の概要】
既存施設・設備の改修や更新等を行い、教育環境の整備を図る。
 - 【事業の必要性】
生徒が安全に、安心して過ごせる学校環境を提供するために必要である。
- 根拠法令
教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、湯梨浜町立小中学校管理規則
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第5次総合計画】湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育環境の充実）
SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
- 本年度の計画効果
 - 【本年度の計画】
◇屋内運動場空調設備設置工事基本設計業務（委託料：5,885千円）
◇来賓玄関前地盤沈下修繕工事（工事請負費：270千円）
◇テニスコート防球ネット修繕工事（工事請負費：2,662千円）
 - 【事業の効果】
計画的な設備更新等により安全・安心な学校活動を保障できる。
 - 【令和7年度評価】
各種学校設備の維持工事などを行い施設の適切な維持管理に努めた。
- 財源の説明
【繰入金】4685千円（ふるさと湯梨浜応援基金）
【一般財源】4,132千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	5,885	5,885	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	2,932	2,932			
15 原材料費			合計	8,817	8,817

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021001001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	4,685	

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

09款 03項 01目 000900000事業 湯梨浜中学校管理運営臨時経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費
事業	大 0033 部活動推進事業 (簡略番号：014458)	中		細	
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一中学校費		

所属	0101012600-0000	教育総務課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,631	2,852	△221	1,403	1,239
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,418	1,619	△201	773
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,213	1,233	△20	630

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】 ①湯梨浜中学校の部活動に、地域の専門的指導者(部活動指導員、外部指導者)を配置する。②国は令和13年度までを改革実行期間としており、本町においても地域クラブの認定等に向け検討会による協議等を行うとともに、地域クラブの認定要綱等の作成や認定審査会の開催等により、湯梨浜中学校部活動の地域展開を進める。
【事業の必要性】 ①部活動の活性化、教職員の業務改善を図る。②保護者、学校、スポーツ団体等の委員で構成される検討会での協議を行うなど、地域一体となって取り組む。

2. 根拠法令
 学校教育法施行規則
 湯梨浜町立中学校部活動指導員に関する規則
 湯梨浜町立中学校部活動外部指導者に関する要綱
 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン
 湯梨浜町立湯梨浜中学校における部活動の地域展開・地域連携に向けた推進計画

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり(学校教育の推進)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】 部活動指導員6名、外部指導者7名を配置予定。検討会での協議等を行って地域クラブの認定等に向けて取り組み、湯梨浜中学校部活動の地域展開を図る。
【事業の効果】 部活動の活性化や教職員の業務負担の軽減等を行うことができる。
【令和7年度評価】 部活動指導員4名と外部指導者5名の配置や検討会での協議等により、部活動の活性化や部活動の地域展開を図ることができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 981千円(中学校部活動指導員配置事業) ※補助率：国1/3, 県1/3, 町1/3
 または 県1/2, 町1/2
 380千円(外部指導者活用事業) ※補助率：県1/2, 町1/2
 57千円(部活動の地域展開・地域連携推進事業) ※補助率：県1/2, 町1/2
【一般財源】 1,213千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,618	1,618	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	7	7	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	870	870	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	113	113	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	23	23	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,631	2,631

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020802203	中学校部活動指導員配置事業補	1,418	1,619

【補助金】

補助金等の名称	中学校部活動指導員配置事業・運動部活動外部指導者活用事業等			
補助基本額	2,494	補助率		補助金額 1,418

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 03項 01目 003300000事業 部活動推進事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
事業	大	0150	コミュニティ・スクール推進事業	(簡略番号：037955)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分	補助事業			目的区分	教一中学校費			

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	190	154	36	125	70
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	82	69	13	67
	地方債				
	その他				
	一般財源	108	85	23	58

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】 保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会を中学校に設置し、学校と保護者・地域住民が協働しながら、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を進める。平成29年3月に学校運営協議会制度に関する法律（地教法47条の5）が改正され、学校運営協議会の設置が努力義務化された。
【事業の必要性】 「地域でどのような子どもを育てていくのか」、「何を実現していくのか」という目標を学校・保護者・地域で共有し、協働して、子ども達を育てていくコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、「地域とともにある学校」に転換するための仕組みづくりを行っている。制度導入により、地域ならではの創意や工夫を活かした特色ある学校づくりを進めるために必要である。

2. 根拠法令
 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとづくり（学校教育の推進）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】 中学校に学校運営協議会を設置し、年間5回程度の協議会を開催。学校運営基本方針の承認等を行い、学校・保護者・地域住民が協議しながら学校運営に当たっていく。また、町コミュニティ・スクール推進協議会を開催し、各校の取り組みについての情報交換、講師招聘による研修等を行い、推進体制のさらなる充実を図る。
【事業の効果】 学校・保護者・地域が共に取り組みを進めることで、子ども達の教育活動が充実し、子ども達と地域とのつながりが深まり、学校を中心とした地域のネットワークが形成され、地域社会の活性化にも寄与できる。
【令和7年度評価】 学校運営協議会を2回開催（R7年11月末現在）し、学校・保護者・地域の立場で協議を行った。また、令和2年度より始まった地域人材を活用した伝統文化に関する学びは1学期に実施。日々の授業においても地域人材の活用が広がっている。

6. 財源の説明
【県支出金】 82千円
【一般財源】 108千円
 ・コミュニティ・スクール推進体制構築事業を活用（国県町1/3ずつ）

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	171	171	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	19	19	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	190	190

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020802202	学校家庭地域連携協力推進事業	82	69

【補助金】

補助金等の名称	コミュニティ・スクール推進体制構築事業				
補助基本額	124	補助率	66.7%	補助金額	82

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 03項 01目 015000000事業 コミュニティ・スクール推進事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事業	大	0211	特別支援教育就学奨励費	(簡略番号：014563)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 8. 4. 1～令 9. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一中学校費			

所属	0101012600-0000		教育総務課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,772	1,688	84	1,035	1,248
財源内訳	国庫支出金	886	843	43	469
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	886	845	41	566

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町立中学校の特別支援学級に在籍する生徒の保護者を対象に、学用品費、修学旅行費、学校給食費などの一部を援助するとともに、他校の通級指導教室に通学する生徒の保護者に対し、交通費の全額または一部を助成するものである。
【事業の必要性】
 特別支援学級に在籍する生徒の学校教育にかかる保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、生徒の健やかな学校生活を支援をするため必要である。

2. 根拠法令
 特別支援学校への就学奨励に関する法律

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第5次総合計画】 湯梨浜愛志を立て共に学ぶひとつづくり（学校教育環境の充実）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ①特別支援学級在籍の生徒：対象生徒の保護者に学用品費、通学用品費、新入学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費などを援助する。
 ②他校の通級指導教室に通学の生徒：対象生徒の保護者に対し、交通費の全額または一部を助成する。
【事業の効果】
 特別教育にかかる保護者の経済的負担を軽減するとともに、生徒の健やかな学校生活を支援することができる。
【令和7年度評価】
 特別支援学級及び他校の通級指導教室に通学する生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

6. 財源の説明
【国庫支出金】 886千円
【一般財源】 886千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費	1,772	1,772
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,772	1,772

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020502002	特別支援教育就学奨励費補助金	886	843

【補助金】

補助金等の名称	特別支援教育就学奨励費補助金				
補助基本額	1,772	補助率	50.0%	補助金額	886

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 03項 02目 021100000事業 特別支援教育就学奨励費

